

読書の友 93号

☆新着図書紹介(4月)

- ・生きものとは何か(ちくまプリマー新書) 本川達雄 著 筑摩書房 ➡ 宮城県出身のおもしろい歌を歌う生物学の先生です。
- ・混物語(講談社BOX) 西尾維新著 講談社
- ・水槽の中 畑野智美 著 KADOKAWA
- ・箱根0区を駆ける者たち 佐藤俊著 幻冬舎
- ・フォルトゥナの瞳(新潮文庫) 百田尚樹著 新潮社
- ・日本人の9割が間違える英語表現100(ちくま新書) キャサリン・A・クラフト著 筑摩書房
- ・英語が上手になりたいければ恋愛するに限る(幻冬舎新書) キャサリン・A・クラフト 著 幻冬舎
- ・キズナキス = KIZUNA+KISS 梨屋アリエ 著 静山社
- ・教授だから知っている大学入試のトリセツ(ちくまプリマー新書) 田中研之輔著 筑摩書房
- ・イラストで読むAI入門(ちくまプリマー新書) 森川幸人著 筑摩書房
- ・中高生からの日本語の歴史(ちくまプリマー新書) 倉島節尚 著 筑摩書房
- ・認知症の人の心の中はどうなっているのか? (光文社新書) 佐藤真一 著 光文社
- ・承久の乱: 真の「武者の世」を告げる大乱 (中公新書) 坂井孝一 著 中央公論新社
- ・その情報はどこから?: ネット時代の情報選別力(ちくまプリマー新書) 猪谷千香 著 筑摩書房
- ・哲学の使い方 (岩波新書 新赤版) 鷲田清一 著 岩波書店
- ・燃えよ、あんず 藤谷治 著 小学館
- ・COOK 坂口恭平 著 晶文社
- ・うちのレシピ 瀧羽麻子 著 新潮社
- ・絵本は心のへその緒: 赤ちゃんに語りかけるということ 松居直 著 ブックスタート
- ・新章神様のカルテ 夏川草介 小学館 ➡ 新章がついにスタート!!
- ・ナチスから図書館を守った人たち デイヴィッド・E・フィッシュマン 著 羽田詩津子訳 原書房
- ・木曜日の子ども 重松清 著 KADOKAWA
- ・ショートショートドロップス 新井素子 編 キノボックス ➡ 短編集なので読みやすいよ!
- ・魔眼の匣の殺人 = Murders in the Box of Clairvoyance 今村昌弘 著 東京創元社書

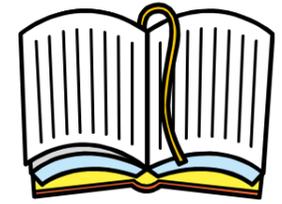
2019年の箱根駅伝で総合優勝した東海大学の2018年までの歩み取材した1冊

将来、保育など子供に関わる仕事したい人は、必ず読んでおきたい1冊です!

ほか多数!

★新刊書は図書館前の掲示板で紹介していますので、ご覧ください!!
新刊書は図書館内で展示していますが貸出OKです!!

☆図書館利用のルール・サービス



[開館時間]

- ① 月曜～金曜 8:30～17:00
- ② 長期休業中はその都度連絡

[館外貸出]

- ① 一度に3冊まで貸し出しが可能(長期休業時は5冊まで)
- ② 返却期限は貸出日から1週間 →読み終わらない場合は延長手続きを行って下さい。

・図書の無断持ち出しは禁止

⇒「禁帯出」のシールがある本、新聞や雑誌は館外持ち出し不可です

・館内での飲食、飲食物の持ち込み厳禁

・館内へのかばん、コート類、傘の持ち込み禁止(貴重品、勉強道具の持ち込み可)

⇒入口右の100円リターン式ロッカーを活用下さい。100円硬貨がない場合は司書に申し出てロッカーの鍵を借りること。

※ 利用についての問い合わせは気軽に司書へ申し出て下さい。

❖図書館がリニューアルしました❖

元号も平成から令和へ変わった今年は図書館も一新。
さらに利用しやすい明るい空間をお届けしていきたいと思ひます。
気になるリニューアルポイントは…



- ・図書館横の掲示板には随時お知らせを掲示!
- ・カウンターにて葉、筆記用具の貸し出しをはじめました!
- ・館内にお薦めの本や新刊図書のコーナーができました!

などなど昨年度とはまた違った雰囲気図書館を一度訪れてみては?

これまで通り図書の予約、リクエスト、レファレンスもお待ちしています。



図書委員のおすすめ本

「白ゆき姫殺人事件」 湊かなえ 集英社

T県T市のしぐれ谷国立公園内で、化粧品会社のOL・三木典子が滅多刺しにされ燃やされた遺体となって発見された。週刊誌のフリー記者、赤星雄治は知人の狩野里沙子から三木殺害に関する話を聞き、事件について興味を持ち、独自に調査を始める。人々への聞き込みの結果、浮かび上がってきたのは事件の日から行方不明になっていた被害者の同僚、城野美姫だった。美人で評判の良かった三木の事件はいつしか勤務する会社の目玉商品「白ゆきせっけん」になぞらえて「白ゆき姫殺人事件」とネット上で呼ばれるようになる。

インターネット上の炎上や報道被害をテーマとしたミステリー小説で、ネット社会や複雑な人間関係、自分の中にもありそうな悪意や善意のフリした悪意で溢れていて最後まで犯人が分からず読んでいてとても面白いです。是非読んでみてください。

「妖怪アパートの幽雅な日常」 香月日輪 講談社

13歳で両親を交通事故で亡くし、高校進学と同時にアパートに入居した稲葉。しかし、そのアパートは様々ないわく付きの人間や人外が住まう妖怪アパートだった。稲葉は高校で、そして妖怪アパートで様々な出来事に直面し、妖怪アパートの住民達から人として生きていくのに大切なことを学んでいく。

妖怪アパートには、手首しかない賄いのるり子さん、人間としての人生に憧れを持つ妖怪の佐藤さん、小説家の一色さんや女子高生で霊媒師の秋音ちゃんなど、個性的であり豊かな住民達が住んでおり、これから生きていくことに必要なことを教えてください。あなたも、妖怪アパートの住民達と会ってみませんか？

本の返却を待っている人がいます！借りたままになっていませんか？

新年度になりましたが、前年度から借りた本を返却していない人が2, 3年生に多数います。借りたままになっていると、次に借りたい人がずっと待つことになります。5月末までに至急返却してください。

返却されない人には、図書委員を通じて、6月はじめに返却を促す督促状をお渡しします。督促状をもらう前に返却しましょう！！

「怪盗探偵山猫」 神永学 文芸社

「山猫って知ってるかい？」

フリーライターである勝村英男に副編集長の水上がそう声をかけた。盗難先の悪事をメモに書き、警察に密告する泥棒 山猫。彼の追跡記事を書くこととなった勝村は先日山猫の被害にあった会社へと足を向けるが、そこは勝村の恩師であった今井の経営する会社だった。しかも、その今井は何者かにそこで殺害されたあとだった。警察は例の山猫のメモがあったことから窃盗、殺人犯は山猫の可能性が高いとして捜査を開始した。

今井への供養になると信じて山猫を追っていた勝村だったが、亡き今井からの勝村へのプレゼントを受け取った帰りに謎の男三人に拉致されそうになった。そこを助けたのが面を被ったまとも謎の男。男は山猫と名乗った。山猫は今井を殺していないと言い、その証拠を勝村に見せた。

勝村は今井の死の真相を暴くため、山猫は着せられた濡れ衣を返すために協力関係を結ぶのだった。

二人の人間の視点から見えるこの事件の全貌、山猫の騙る話に転がされる勝村、山猫の纏うミステリアスな雰囲気や事件のシリアスさを感じながら楽しめます。シリアスな展開が苦手な人でも十分に面白く読めると思います。ぜひ一度、手にとってみてください！

★安藤司書からのお知らせ

5月に入り新緑がまぶしい季節になりました。仙台が一番美しいといわれている季節です。今年度より図書館の担当になりました司書の安藤です。どうぞよろしく願いいたします。

慌ただしい4月が過ぎ、学校生活にも慣れて落ち着いてきたと思います。図書館は、新しい担当が着任しまして、リニューアル中です。気軽にふらっと立ち寄ってみてください。思いがけない1冊に巡り会えるかもしれませんよ(^_^)

[昨年度から変更したこと]

① 基本的に開館中8:30~17:00は、図書館のドアを開放します。自由にお入り下さい。

② 新着本コーナー以外にいろいろな特設コーナーを随時設置しています。

*本屋大賞2019 *小論文参考図書 *進路関係の本 etc.

③ 新聞をいつでも読めるようにしました

河北新報、毎日新聞、英字新聞 *自分の世界を広げる機会なります

④ 情報コーナー設置

*生徒向けの情報を提供するために、図書館前に掲示板と資料を置くテーブルを設置しました。置いてある資料は自由にお持ち下さい。

結構、知らない人が多いのですが、図書館が閉館しているときは、図書館前の『ブックポスト』へ入れてください。みなさんのためにある図書館です。どんどん活用して、「夢を叶える糧」にしてください。みなさんのご利用をお待ちしております。